



【構想の名称】(選定年度23年度(タイプA-I CAMPUS Asia Pilot Program))

エネルギー環境理工学グローバル人材育成のための大学院協働教育プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

専門分野の深い知識を修得し、それに基づく研究開発能力、エネルギー環境問題の現状の理解と発展的考察力、グローバルに活動するために必要な英語力を兼ね備えた研究/技術者倫理を持ち、異国の文化・人・社会を理解出来る人材

【構想の概要】

エネルギー問題とそれに関係する環境問題に関わる科学と技術分野において、将来グローバルに活躍出来る高度研究者・技術者を国際連携の下で育成するためのダブルディグリー理工系大学院協働教育プログラムを、九州大学(KU・日本)、上海交通大学(SJTU・中国)、釜山大学校(PNU・韓国)が共同開発し、本格的に実施する。

## ■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

○ **本プログラム2期生 30名がダブルディグリー(DD)を取得し2大学の修士課程を修了**

半期の留学と一編の英語による修士論文審査および、母大学と留学先大学2大学の修了要件を満たした30名(KU生10名、PNU生8名、SJTU生12名)が、DDを取修了した。

○ **修士論文共同審査の実施**

DD取得修了要件となる修士論文の共同審査を2大学合同(KU-PNU,KU-SJTU)で実施し、関係教員による最終論文審査を行った。

○ **国際・国内PDCA委員会の開催**

日中韓コンソーシアム内の国際PDCA委員会、学内のPDCA委員会を適宜開催した。

○ **国内探沢プログラム 理工系大学との連携活動**

東工大主催「キャンパスアジアスペシャルレクチャー」へ名古屋大、東北大とともに参加、現地でのディスカッションと共にTV会議システムを利用して本学の学生が多数参加した。

○ **CA理工系3プログラム合同報告会の参加**

東工大、名古屋大、東北大、本学の4大学合同報告会への参加、情報共有と今後のプログラム継承・発展について協議を行った。

## ■ 実施した交流プログラムの概要

(H27.8 サマースクール)



(H28.3.25 春季セミナー 留学生とのFD会議)



○ **EESTコース校外学習 (H27.7)**

長崎地方での校外学習を実施、エネルギー環境理工学に関する学習を行った。

○ **第4回サマースクール開催 (H27.8)**

本学がホスト校となって、サマースクールを開催した。3大学合わせて102名の学生が参加、期間中には、3大学教員同席のもとで、修士論文中間発表も実施した。

○ **PNU学部生9名のインターンシップ受入 (H27.7~8月)**

プログラム拡大の一助として、PNU学部生9名をインターンシップとして受け入れた。

○ **DD生交換留学(前期、後期)**

DD取得のための交換留学を実施した。(派遣7名、受入12名)

○ **国際研究交流セミナー(第17回、CSS EEST セミナー)の開催 (H27.12)**

学生の交流事業であるCSS EESTセミナーを本学がホスト校となって開催し、3大学合わせて123名の学生が参加、研究交流、国際交流を果たした。

○ **春季セミナーへの派遣・受入 (H28.2月/3月)**

修了式直前に春季セミナーを実施し、学習の総仕上げと学生からの意見聴取を行った。

## ■ 学生のモビリティ

○ **日本人学生の派遣**

DD生派遣(SJTUへ5名、PNUへ2名)を含む合計17名を派遣した。

○ **外国人留学生の受入れ**

DD生受入(SJTUから8名、PNUから4名)を含む合計170名を受入れた。

	H23	H24	H25	H26	H27
日本(J)での受入	C10, K10	C25, K41	C30, K46	C21, K12	C75, K95
中国(C)での受入	0	J3, K3	J54, K71	J53, K34	J9, K3
韓国(K)での受入	0	J24, C13	J5, C2	J52, C28	J8, C8

## ■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

○ **日本人学生派遣を促進するための取り組み**

CAオフィスによる事前説明会、およびPNUのCA専任教員の来日に合わせた派遣前オリエンテーションを実施した。DD生派遣時には、本学のCA専任教員(中国籍)も同行し、SJTU留学開始時のフォローを行った。

○ **外国人留学生の受入を促進するための取り組み**

本学のCA専任教員(中国籍)がSJTUに出向き、KUのプログラムの詳細を紹介、併せてDD候補生のリクルート活動を実施した。留学生への支援強化(履修指導並びに生活全般へのアドバイス、留学生へのサポーター配置)および生活環境の整備を行った。

## ■ 構想の実施に伴う大学の国際化の状況、情報の公開・成果の普及

○ **工学教育賞 文部科学大臣賞の受賞**

日本工学教育協会年会セッションで本プログラムを紹介、DDプログラムを構築・実施していることが高く評価され、国際セッション優秀発表論文賞および文部科学大臣表を受賞した。

○ **日韓国交正常化50周年記念教育シンポジウムへの登壇**

本プログラム学生が釜山で開催された標記シンポジウムへ参加し、ディスカッションセッション「日韓の教育交流の展望について」、自身の韓国留学経験をもとにスピーチを行い、出席者に感銘を与えた。また、これにより当学生は本学の学生表彰を受賞した。

○ **各種媒体を利用した情報発信**

HP、FBによる情報提供、News Letterの発行(2回)、並びにH27年度事業報告書、最終事業報告書を発行し、情報発信を行った。

(H28.3.25 KU学位記授与式)



(H28.3.26 SJTU学位記授与式)



(H28.2.27 PNU学位記授与式)

